

様式第1号（研修費、広聴費）

令和 7年 11月 10日

蕨市議会議長 様

会派名 新 翔 会  
氏 名 小林 利規

### 広聴会・研修会等（参加）実施報告書

次のとおり実施しましたので報告します。

1. 会合の名称	全国災害ボランティア議員連盟令和7年度調査・研修会
2. 主 催 者	全国災害ボランティア議員連盟
3. 開 催 日	令和 7年11月 4日（火）12時00分 ～17時00分 令和 7年11月 5日（水） 8時30分 ～16時00分 令和 7年11月 6日（木） 9時00分 ～16時00分
4. 参加議員名	小林 利規
5. 内 容 （目 的）	全国災害ボランティア議員連盟の視察研修にて、能登・輪島市門前町を訪れた。発災から2年を迎えようとする現地で、被災者の声に直接耳を傾け、復旧・復興の現状を自らの目で確認した。過疎化が進む地域では小中学校も廃校となり、唯一の公共拠点である公民館での聞き取りから、地震と水害という二重災害の厳しさと、「想定外さえ想定内に」という教訓の重みを痛感した。元旦から長期に及んだ避難所運営では、食料・水・電源・通信・入浴・感染症対策、さらにはボランティアや報道対応まで多岐にわたる課題が存在し、特に高齢者の健康維持への対応の重要性が強く印象に残った。一方で、行政と自衛隊、関係機関との連携不足や縦割りによる調整の難しさが、現場の混乱を招く場面もあったという。加えて、災害拠点病院の機能不全やBCPの限界、福祉避難所の設置と運用、制度上の課題につ

	いても理解を深めた。さらに、支援自治体と被災自治体が対等に連携する「カウンターパート方式」の有効性と、被災者に寄り添う姿勢の重要性を再認識した。現場で得た知見は極めて重く、机上では得られないものである。この経験を踏まえ、今後の防災施策に確実に活かしていく決意である。
--	---

※上記の広聴会・研修等で支出した政務活動費について、全ての領収書またはこれに準ずる書類を添付すること。また、旅行代理店等を通じて手配した旅費、宿泊費等は、その詳細（旅費、宿泊費等の内訳）も添付すること。